

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 大阪大学微生物病研究所 感染微生物分野
東京大学医科学研究所 細菌学分野
准教授 三室仁美 先生
2. 演題 持続感染病原細菌ヘリコバクター・ピロリの感染機構
3. 日時 平成30年8月21日(火)18時30分～20時30分
4. 場所 M&Dタワー 2階 共用講義室1
5. 要旨

Helicobacter pylori (ピロリ菌) は、幼少期に食物や飲水とともに生体内に取り込まれると、胃上皮に付着感染し、何十年もの感染ののちに胃炎や胃がんを誘発する。本菌の病原性の根幹である持続感染と炎症のメカニズムを明らかにするためには、感染の素課程の理解が重要である。私たちは感染動物モデルを用いて、臨床検体では解析が困難な感染プロセスの解明を目指している。本講義では、ピロリ菌の病原性研究に関する私たちの最近の成果をご紹介したい。

【連絡先】 人体病理学分野 古川 あすか (内線 4607)